

成田市農政推進協議会会議録

1 開催日時

平成27年3月20日（金）午後1時30分～3時30分

2 開催場所

成田市花崎町760番地

成田市役所議会棟3階 第3委員会室

3 出席者

（委員）

岩澤委員、海保委員、松田委員、渡邊委員、及川委員、秋山委員、朝倉委員、一畝田委員、

（事務局）

諏訪経済部長、黒田農政課長、久能農林畜産係長、高柳水田営農係長、酒井農業土木係長、渋沢主査、飯島主査、齋藤主事

4 協議報告事項

（1）平成27年度農政課主要事業について（報告）

（2）水田農業構造改革対策について（報告）

（3）成田市基本構想の見直しについて（報告）

（4）人・農地プランについて（報告）

（5）多面的機能支払いについて（報告）

（6）その他

5 議事（要旨）

司会進行（黒田課長）から、会議開催にあたり農政推進協議会第5条の規定による出席者数が過半数である旨の報告により開会の宣言を行った。

岩澤会長を議長として協議報告事項に入った。

冒頭、傍聴者について報告（傍聴希望者なし）

続いて、協議報告事項（1）～（5）について事務局から報告を行った。

主な意見、質疑応答は次のとおり

（1）について

委員質疑：

質問：園芸振興対策事業について、機械の更新を対象にできないか。

回答：耐用年数を過ぎたら対象にしていいのではないか。（市長より）

質問：後継者が不足しており、何か新しい施策が必要ではないか。

回答：新規就農支援はやっている。

質問：下総みどり学園のそばで畑からの土埃がひどい。

回答：地力増進事業はやっている。農協とも相談して広めていきたい。

（2）について：特になし

委員質疑：

質問：主食用米より飼料用米のほうが収入になるのは複雑である。

回答：おいしいお米を作っているという自負は理解できるが、収入を得る上では、飼料用米への取り組みが必要だと考える。

(3)について

委員質疑：

質問：一人当たり労働時間が年間2,000時間以下では、1日6.6時間になる。
それでは農業は出来ない。

回答：(特になし)

質問：どうしたら農家は金になるのか。

回答：認定農業者、認定就農者でその指針を示している。

質問：認定を受けてもメリットがない。

質問：推進協議会にまずは出席して意見を出すべきだと思うが、何もない。
何か目玉になるものはないか。

回答：イオンのそばに出展して農産物を売る。(委員より)

回答：年配の人が歩いて行けるところに直売所を作る。(委員より)

(4)について：質疑なし

(5)について

委員質疑：

意見：いい制度だし以前より取り組みやすい。一人リーダーがいるとうまくいく。

(6)その他

委員質疑：

質問：農家が嫁を貰うのに良い方法はないか。

回答：青年会議所で「成コン」というイベントをやった例はある。

質問：直売所は宣伝に金がかかる。市で盛り上げてくれないか。

質問：市やJAのホームページで取り上げているが、個々の直売所のページがあるといい。

回答：良いものを売れば、売れるのではないか。

意見：いいものを作っても、ロコミの拡散には時間がかかる。

意見：直売所はモノが良くても、値段がスーパーより高い。

意見：手数料を乗せるから仕方がない。

意見：行政が市場調査をすればよい。

6 傍聴

傍聴者：なし

7 次回開催予定

平成27年6月20日頃(予定)